

Shirane

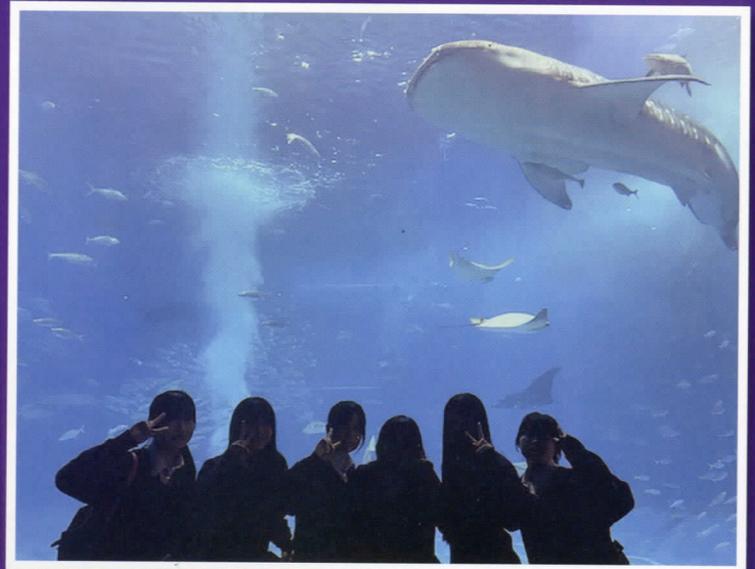
挑戦 Spirit

一人一人の進路実現に向けた、きめ細かい指導。
部活動や奉仕活動への参加を通じて、豊かな人間性を育成。
地域社会に信頼される学校づくり。
それが白根高校のスピリットです。

Vol. **61**
第61号
Feb. 2026
白根高校通信

CONTENTS

- P.02 修学旅行
- P.03 合格体験記
- P.04 フィールド・デイ体験記
- P.04 突撃インタビュー



「どこまでも広がる青空のもと、
歴史と向き合い、
過去から未来へと
想いをつなぐ」





修学旅行
沖縄県
 2025.12.7.Sun.
 ~12.10.Wed.



2年4組 武藏 さくら
 今年の修学旅行は毎日天候が良かった為、何事もなく沖縄を堪能することができました。私の一番の思い出は、二日目のひめゆり平和祈念資料館と三日目のタクシー班行動です。ひめゆり平和祈念資料館では、ひめゆり学徒隊について学びました。私は修学旅行へ行く前に、ひめゆり学徒隊を題材にした映画を観ていた為、実際の資料や当時の詳しい状況を学ぶことが楽しかったです。しかし、実際に資料館へ足を踏み入れて、資料や映像を見ると心が強く締め付けられ、言葉が出ませんでした。私と同年代くらいの子供たちが、



2年3組 磯野 斗希
 修学旅行では沖縄の自然や歴史を学び普段の学校生活では味わえない多くの経験をすることができました。一日目は、平和祈念公園やガマを訪れました。多くの名前が刻まれた慰霊碑や実際にたくさんの人が逃げ込んだガマを見て戦争の恐ろしさや平和の大切さを改めて感じることができました。二日目は、クラスみんなで海に行きました。透き通った海と白い砂浜がとても綺麗でした。その後のビュッフェでは沖縄の料理を楽しみ、笑いの絶えない楽しい時間でした。午後に訪れた

御国の為と言われ続けながら、沢山の犠牲や精神を削って生き残るために働き、戦っていたのか想像しただけで胸がいっぱいになりました。一番印象に残ったのは、ひめゆり学徒隊の先生方と生徒さん達の写真や紹介文、どのように亡くなったのか書かれたものが飾られたコーナーです。「お母さんに会いたい」、「爆弾が降らない空の下で皆と過ごしたい」という言葉がとても心に響きました。家に帰るとお母さんが「おかえり」と言ってくれる毎日や、当たり前のように通い、友達と笑って、家族と温かな食卓を囲めることが、どれだけ当たり前のことではな



た美ら海水族館では巨大な水槽を泳ぐジンベイザメや様々な種類の魚を見たり、ウミガメやマナティーを間近で見たりすることができました。三日目は、今回の修学旅行の中でも特に印象に残っているマリントイレをしました。その日は風がかなり強くちゃんと泳げるか心配だったのを覚えていますが海の中は海底まで透き通った景色が広がり色とりどりの魚がゆったりと泳ぐ姿を間近で見ることができました。サンゴ礁も見ることができその周りを泳ぐた



こともできました。餌を持った瞬間様々な色の魚が一斉に集まってきた近くで泳ぐ姿はともかわいかったです。沖の方まではバナボートに乗って移動しました。かなりのスピードで、波で大きく揺れるたびに友達と声を出して笑い合いスリルを感じることができました。その後のタクシー行動ではアメリカンビレッジに行き、海外の街並みのようなカラフルな建物が広がる中で買い物や散策を楽しみました。四日目は、首里城を見学しました。沖縄の歴史や文化を感じることのできる建物を見ること

いかを、改めて考えることができました。この平和学習がの先もずっと続いて欲しいと、心からそう思いました。三日目のタクシー班では、ネオパーク沖縄という動物園に行きました。受付の先の扉を開けると、沢山の珍しい鳥に囲まれました。動物と至近距離になっても攻撃や威嚇などは一切なく、スタッフさんやショップの店員さんも全員温かく笑顔で対応してくださり、すごく嬉しかったです。レッサーパンダの「さくらちゃん」に餌やり体験も出来て、すごく楽しかったです。この修学旅行で沢山の思い出ができ友達との仲も深まったと感じています。



ができてとても貴重な経験になりました。今回の修学旅行では沖縄の自然や戦争の恐ろしさや平和の大切さについてさらに深く学ぶことができました。また仲間との絆がさらに深まり貴重な体験をたくさんすることができ、忘れられない経験になりました。



山梨大学 工学部 工学科
コンピュータ理工学コース

山本 大翔

私は中学生の頃からパソコンを触っていたため、将来パソコン関連の仕事をしてみたいと思っていました。高校2年次には山梨大学のこのコースに進学したいと考えるようになり、高校3年生の4月頃から情報系統のエンジニアになりたいと考えていました。そして、高校3年生の夏頃から本格的に試験に向けての対策を始めました。

工学部の学校推薦は2、3年前から試験方式が変わり、そして過去3年間で学校推薦で工学部に行った先輩がいないため、情報が少ないまま対策を始めました。対策は担当の先生を付けていただき3人体制で行いました。試験で最も不安であった面接の練習は試験1ヶ月ほど前から始めました。学校で全体の流れを指導

合格体験記

山梨学院短期大学

保育科 鈴木 梨亜

私は幼少期から子供とかかわる仕事に就きたいという夢がかかわる卒業後は子供の発達とそのサポートについて学べる学校に進学したいと考えていました。様々な学校のオープンキャンパスに参加し、その中で山梨学院短期大学が私の夢を一番後押ししてくれると感じたので、進学を決めました。

推薦入試を受験するにあたり、面接練習を行いました。担当の先生と何度も練習を繰り返して、はじめはすぐに答えることのできなかつた質問も返すことができるようになり、徐々に自信を持つことができるようになりました。

合格することができたのは、先生方のご指導をはじめ、いつも支えてくれた家族や友人の支えがあったからです。感謝の気持ちを胸に、自分

していただき、塾で返答内容や話し方を指導していただきました。試験当日の面接は練習の成果により、あまり緊張せず、ただの会話のように話すことができました。

合格することができたのは家族や先生からの励ましの言葉や指導があったからだと思えます。進学後は将来の夢が叶えられるよう、努力し続けていきたいと考えています。

山梨県立大学 国際政策学部
国際コミュニケーション学科

堀口 幹太

私が山梨県立大学を受験するにあたり大事にしたことは、まずは大学について深く知ることです。大学の特色や、アドミッシヨンポリシー、国際政策学部で学べることについて調べ、自分の学習の目的を明確にしました。そのうえで、ニュースを見ることがを心がけ、国際問題や地域課

本年度合格者数

四年制大学 42名

短期大学 16名

専門学校 53名

就職 8名

多様な進路希望に応じたきめ細やかな指導が進路実現を支えています

の夢に向かって、今まで以上に努力していきます。

帝京山梨看護専門学校

深沢 心優

私は幼少期に出会った看護師さんに憧れを抱き、中学生の頃から看護師を志すようになりました。進学先を決めたのは3年生の10月頃でした。初めは看護学部・学科のある大学への進学を考えていましたが、成績の伸び悩みや進学後の学習についてけるのかなどの不安があり、家族と話し合い専門学校に進むことを決めました。

推薦入試を合格するために、面接練習をひたすら行いました。進路を決めたのがギリギリだったこともあり、練習期間が短く、面接練習では上手く受け答えができず止まってしまうことが多々ありました。家では両親に練習に付き合ってもらい、覚

題について、自分の考えをノートにまとめることに取り組みました。また、受験では英語による面接がありました。語彙を増やしつつ、知っている単語、文法を活用し、質問に対して自分の言葉で伝える練習に力を入れました。さらに、日本語での面接対策では、質問に対して、決まらされた時間内で考え、要点をまとめ、簡潔に答えることができるように意識して取り組みを行いました。国際政策学部の小論文は、具体的な地域課題や国際課題に対する自分の意見を述べるものが多い、難しいことが多かったですが、身近な課題に関する知識を増やすことや語感を磨くことで対策をしま



桜美林大学 グローバル・コミュニケーション学科

森 琥珀

私は幼い頃から航空業界の仕事に興味があり、高校卒業後は航空業界では必須となる英語を学びたいと考えていました。私はサッカークラブに所属していたのですが、部活動と試験対策を両立させるのは苦戦しました。試験は一次試験で16000字の自己PR文の書類審査、二次試験で面接がありました。一次試験では16000字という字数の多い自己PR文をそれまで書いたことがなかったのを何を書けばいいのか、何をPRすればいいのか定まらず苦戦しましたが、担当の先生に添削をしていただいたり、大学側が提供する書き方セミナーに参加したりしました。二次試験は日本語と英語の両方で面接を行い、課題図書についての質問もありました。私は英検を受け

たことがなかったので英語での面接は初めてでした。対策として放課後ALTの先生に英検の過去問で練習をして頂きました。課題図書は聞かれそうな単語やページに印をつけて答えられるように対策しました。3年間クラスの委員長、副委員長を務めた経験が自己PR文や面接に役に立ち、努力の積み重ねが大切だと改めて実感しました。



えるだけでなく自分の言葉にして答えることを意識し、何回も繰り返し練習しました。そして、色々な人からのアドバイスのおかげで、入試本番はスムーズに話すことができました。私が無事合格することができたのは、熱心に指導してくださった先生方やいつも側で支え寄り添ってくれた家族、友人の協力のおかげです。支えてくださった方々への感謝を忘れず、期待を裏切ることがないように自分の夢に向かって努力していきます。

株式会社チホリコンフエクションナリー

石原 由菜

私は二年生の夏から本格的に就職を考え始めました。幼いころから身近にあったお菓子が好きで、将来は人に喜んでもらえる仕事がいいという目標を持つようになり、三年生の二期に株式会社チホリコンフエクションナリーへの就職を決めました。就職先を決めてからは、採用試験に向けて作文と面接練習を繰り返し行いました。私は、人前で話すことがあまり得意ではないのでとても大変でしたが、受け答えをきちんとできるようにするため、何度も練習を重ね本番に自信をもつためのぞめるように努めました。



11月12日(水)、一年生がフィールド・デイを実施しました。コミュニティ・スクールにおける「地域を学ぶ」活動の一環として、南アルプス市スコエコパーク内で様々な体験活動を行い、南アルプス市周辺の豊かな自然環境の学びを深めました。



1年3組 石川 陽奈子

今回のエコパ伊奈ヶ湖での体験活動を通して南アルプス市の自然を多く知ることができました。体験活動では、ガイドウォーク体験・クラフト体験・森づくり体験を行いました。ガイドウォーク体験では、ガイドスタッフさんが見どころや自然環境の話を紹介してくれました。クラフト体験では、エコパ伊奈ヶ湖の間伐材を利用したキーホルダー作りを体験しました。森づくり体験では、生き物たちのホテルづくりを行いました。色々な生き物たちが住み着いてくれるように、みんなで協力しながら作ることができました。エコパ伊奈ヶ湖は、伊奈ヶ湖周辺だけではなく、南アルプス市全体ということや、南アルプス市スコエコパークの自然を学び、楽しむことで、自然を大切にするファンを増やす場所だということを詳しく教えていただきました。そして、エコパ伊奈ヶ湖では「人間社会と自然の共生」を目標として生き物にあった環境を整えることも大切だと教えていただきました。私たちは、これからも自然を大切にしていきたいと思えます。

Q1. 自己紹介をお願いします。

保健体育科の小山秀斗です。5年前にこの白根高校を卒業しました。白根高校通信に掲載されることを知り、過去のものを見ていたところ、高校時代の自分が掲載されており、うれしい気持ちになりました。

Q2. どうして先生になろうと思ったんですか？

高校時代に出会った先生方の影響が大きいです。勉強だけでなく、人としても成長させてもらったと感じています。今度は自分が、生徒の皆さんにとってそんな存在になれたらと思い、先生を目指しました。

Q3. 小山先生はどんな高校生活を送っていましたか？

高校生活を思いきり楽しんでいました。週2回の小テストに追われながら、ウェイトリフティング部に所属し、全国制覇を目標に仲間と毎日練習していました。きついこともありましたが、その経験は今でも自分の原点で、肉体にも気持ちにも残っています。

Q4. 生徒へメッセージをお願いします。

高校時代に知り合った仲間や友人とのつながりは、一生ものだと思います。今隣にいる友人を大切に、周りにいる仲間には思いやりを持って接してあげてください。

突撃

インタビュー！

～白根高が誇る先生～



インタビューを受けてくれたのは「小山秀斗先生」

今回インタビューをお願いしたのは、本校卒業生で今年度赴任した体育の小山秀斗先生です。

